

# Eastspring Asia Now

## Vol.11 タイの産業構造転換に向けた努力



### 20年計画である「タイランド 4.0」の政策が具体化

- ▶ タイ政府は、2015年にプラユット暫定政権の下で、次世代の社会経済のビジョンとして「タイランド 4.0」を発表しました。過去におけるタイの発展は第1段階が農業、第2段階は天然資源の輸出や軽工業を中心とした発展、第3段階は外資企業の進出による製造業中心の発展であったとし、「4.0」には第4段階の発展のビジョンという意味があります。第4段階に進むには高付加価値かつ競争力のある産業を育成し、「長期的に持続可能な成長」に向けた改革が必要であるとされています。
- ▶ タイは、1980年代後半から日本の自動車企業の部品工場設立などを契機としていち早く発展を遂げましたが、2010～2016年の実質GDP成長率は+3.6%とASEAN5カ国の中で最も低く、また高齢化も進む見通しです。このため政府は、産業構造の転換が不可避であると考えて2036年までの20年計画を作成しました。2016年後半より政策の具体化が始まっています。
- ▶ 「タイランド 4.0」の実現に向けて、2016年6月に情報通信科学技術省を改組して国営通信会社などを管轄する「デジタル経済社会省」を設置することが承認され、9月に実施されました。農村地域約3千カ所ですべて無料の高速通信網を整備したり、衛星通信事業を改革する計画です。タイ政府は「デジタルエコノミー政策」を掲げ、大規模な電子決済システム構築やベンチャー企業の活性化による景気浮揚を目指しています。

### 経済特区である「東部経済回廊(Eastern Economic Corridor)」に外資企業を誘致

- ▶ さらに、2017年2月には、外国企業の投資に過去最大の優遇措置を付与する「東部経済回廊(EEC)」の計画を発表しました。
- ▶ 各国と繋ぐハブとして活用しやすい東部湾岸地域において、主要4領域\*の開発により世界クラスのハイテク化された経済特区を目指します。
- ▶ 誘致目標は約30社ですが、タイの主要企業やトヨタ、ホンダなど10社ほどがすでに進出を決めたとの報道があります。

\*主要4領域とは…

- インフラ(空港、港湾、高速鉄道など)
- ビジネス・産業の集積地と技術革新ハブ
- 観光
- 新都市と地域コミュニティ



#### 【EECにおける重点産業】

バイオエコノミー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機能的食品</li> <li>・バイオプラスチック</li> <li>・化粧品</li> </ul>	航空機、メンテナンス・関連ビジネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・航空機部品/スペアパーツ</li> <li>・整備/修理/オーバーホール</li> <li>・航空貨物</li> </ul>
自動車・部品 電子・ロボット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代自動車</li> <li>・電子部品</li> <li>・産業用・家庭用ロボット</li> </ul>	メディカルハブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設</li> <li>・医療センター</li> <li>・薬品/医療用機器</li> </ul>

#### < EECに対する主な特典・特別恩恵 >

- 進出企業に対し、法人税免除期間終了後も5年間にわたり50%免除
- タイ投資委員会(BOI)が認めるEEC内の戦略的プロジェクトに対し、法人税を最長15年間免除
- EEC内のインフラ・施設等への投資、産業または地域統括本部に就役する経営者、専門家などの人材を対象に所得税を17%に減税

出所: タイ政府、IAIS、各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来を保証するものではありません。

#### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第379号/加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社は関係がありません。